



第4編

第8次上市町総合計画 基本計画 【個別施策】



©2012 W.C.F.P

1 つながる上市

幸せでわくわくのミライへ“つながる”子育て・教育

つながる1 子育て支援

1-1 子育て支援の充実



現状と課題

- 将来的に乳幼児・児童数の減少が見込まれる一方で、子育てや教育、保育サービスに対するニーズは、経済的支援や保育環境の充実、産前産後のサポート、相談体制の強化など、より多様かつ具体的に高まっています。特に子育て世帯や若年層からは、経済的負担の軽減や住宅支援、保育所（園）等の利用しやすさ、デジタル化による手続きの簡素化など、切れ目ない支援体制への期待が強く寄せられています。
- 今後は、乳幼児・児童数やニーズの動向を注視しつつ、子育て世帯の不安や負担感の軽減を図るため、サービスの質と利便性の向上、関係団体・機関の分野横断的な連携、デジタル技術の活用、人材確保・育成など、総合的な子育て支援体制の強化が求められます。

ミライの上市

豊かな自然に抱かれ、子どもから若者、子育て世帯まで、妊娠・出産・子育て・教育の各段階で切れ目なく多様な支援が受けられています。

数値目標

指標	基準値	目標値
子育て世帯の転入数 (0~6歳児を含む世帯)【総合戦略】	29世帯	35世帯
産後ケア事業の利用率 (産婦のうち利用した割合)【総合戦略】	40.1%	50%
放課後子ども教室利用延べ人数【総合戦略】	13,664人	14,000人
放課後児童クラブ設置数【総合戦略】	6か所	6か所

コメントの追加 [C1]: 総合戦略の重点施策において「結婚支援」から「子育て世帯全般への切れ目ない支援」へと重点が移ったため、現状と課題も「子育て世帯の不安・負担感の軽減」「多様な支援体制の充実」に主眼を置く表現に改めました。

・住民アンケート結果や府内ヒアリングに基づき、経済的支援、住宅支援、保育・特別保育、産前産後ケア、デジタル化、相談体制強化など、住民や現場からの具体的なニーズを本文に盛り込みました。

・既存の「多様なニーズへの対応」に加え、デジタル化や人材確保など、今後の重点となる横断的な課題を明確にし、重点施策やヒアリングで強調された「関係機関の連携」「総合的な支援体制」を明記し、今後の方針性を示しました。

コメントの追加 [C2]: 「出産から子育て」だけでなく、「妊娠・出産・子育て・教育・若者」まで切れ目ない支援を強調しました。

・経済的支援や住宅支援、産前産後ケア、教育支援など、重点施策で拡充された支援内容を「多様な支援」として簡潔に表現し、元の「切れ目なく支える」という安心感を残しつつ、対象を拡大するイメージになるように変更しました。

コメントの追加 [C3]: 変更後の骨子では「結婚支援」に関する記述が削除されており、代わりに「子育て世帯への支援」「保育環境の充実」「相談体制の強化」などが中心となっています。これらを踏まえて、代わりに支援策が定住促進に結びついているかを評価すべきと考え、子育て世帯の転入数としました。【総合戦略と同様】

コメントの追加 [C4]: 安心できる妊娠・出産環境の整備状況を測る指標として追加すべきと考えました。【総合戦略と同様】

病児・病後児保育事業の実施施設数

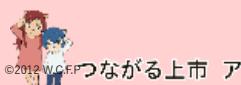
2か所

3か所

施策の内容

1-1-1

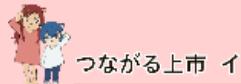
多様な保育サービスの充実



- 町内の各保育所（園）及び認定こども園において、通常保育に加え、一時預かり事業や病児・病後児保育事業など多様な保育ニーズに柔軟に対応し、子育て世帯の不安や負担感の軽減を図ります。
- ★ 保育所（園）及び認定こども園の施設については、必要な修繕を随時行い、民間施設には必要に応じて助成するとともに、ICTの活用を推進するなど快適かつ安全な保育環境を提供します。
- ★ 保育士・支援員等の人材確保・育成、職員の資質向上、適正配置、デジタル技術の活用などにより、運営体制の充実とサービスの質の向上を図ります。
- 町内の各保育所（園）及び認定こども園が連携し、保育研究を実施するとともに、職員のキャリアアップ、保護者・地域との情報共有を進め、保育の質の向上を目指します。

1-1-2

地域ぐるみの子育て支援体制の強化



- 町内3か所で実施している地域子育て支援拠点事業について、サービスの提供の必要性に応じて、他の事業者からの参入希望等を調査し、今後の事業展開を検討します。

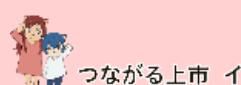
1-1-3

若者・子育て世代へのライフデザイン・子育て力育成支援

- 妊娠・出産・子育てに関する各種教室やイベントを通じて、親同士や親子の交流を促進するとともに、ライフデザインや子育てに関する悩みや不安への相談支援を充実させます。
- 町内の各保育所（園）及び認定こども園において、乳幼児と中学生のふれあい体験学習を実施し、次世代の親となる若者が子育てやライフデザインを考える機会を創出します。
- ★ デジタルツールを活用した情報発信の強化など、子育てに関する多様なつながりの場の提供に努めます。

1-1-4

多様な子どもの居場所・体験活動の充実



- 保護者の就労等により帰宿時に家が留守となる小学生や、さまざまな事情を抱える子どもたちに対し、小学校の余裕教室や児童館、公共施設等を活用し、放課後や休日に安心して過ごせる多様な居場所や体験活動の場を提供します。
- ★ 児童館や放課後児童クラブ、放課後子ども教室の環境整備に努め、安全性や活動の多様性を高めます。
- 地域住民や多世代、社会教育団体等と連携し、学習・スポーツ・文化・自然体験など、子どもたちが自由に楽しく成長できる多様な体験活動を推進し、子ども同士や保護者、地域の大人との交流

コメントの追加 [C5]: 「多様な保育ニーズへの対応」

「切れ目ない支援」「子育て世帯の不安・負担感の軽減」など、重点施策のキーワードを本文に明記しました。

・一時預かり事業・病児・病後児保育事業・ICT活用・申請手続きの簡素化・人材確保など、職員や住民の具体的な課題感と要望を本文に盛り込みました。
・施設数や修繕だけでなく、サービスの質・利便性・デジタル化・人材育成など、質的な向上や新しい価値観を施策内容に反映し、保育所・園同士や地域・保護者との連携、情報共有の推進を明記し、地域ぐるみの子育て支援を強調しました。

コメントの追加 [C6]: 「ライフデザイン」など、重点施策のキーワードを本文に明記しました。

・相談支援の充実、体験学習、デジタルツール活用など、職員や住民の具体的な課題感・要望を本文に盛り込みました。
・交流や体験の機会、若者世代へのアプローチなど、質的な向上や新しい価値観を施策内容に反映し、これから親になる若者や、子育て世代全体への支援を明確にし、将来のまちづくりにつなげる視点を追加しました。



©2012 W.C.F.P.

を通じて、孤立や不安を防ぎ、地域全体で子どもを見守り育てる
体制づくりを進めます。

主な取組

- 公立保育所運営事業
- 保育士等キャリアアップ研修事業
- 放課後児童健全育成事業
- 放課後子ども教室推進事業
- 青少年健全育成事業
- 保育所（園）等のICT推進事業
- 民間保育所（園）・認定こども園運営支援事業
- 保育所等連携事業
- 地域子育て支援拠点事業
- 児童クラブ育成支援事業
- 周産期等の支援



©2012 W.C.F.P. :総合戦略（おおかみこどもプロジェクト）との関連する施策
施策の内容：★…新規施策または前期計画から新たな方向性を取り入れた施策
○…引き続き適時改善を図りながら推進する施策

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 子育て支援策や利用できる制度について積極的に情報を収集し、必要に応じてデジタル申請や相談窓口を活用します。
- 子育てや妊娠・出産で困っている人を見かけたら、こども家庭センターや地域子育て支援拠点、出産・育児支援サイト「きらきらかみっ子」などを紹介します。
- 子育てイベントや地域の交流活動に参加し、子育て仲間づくりに協力します。

コメントの追加 [C7]: ・「多様な居場所」「体験活動」「地域ぐるみ」など、重点施策のキーワードを本文に明記しました。

・放課後や休日の多様な居場所、体験活動、ICT活用、地域連携、孤立防止など、現場や住民の具体的な要望を本文に盛り込みました。
・施設数や修繕だけでなく、活動の多様性・利便性・安全性・交流・体験の質的向上を重視し、地域住民や多世代が関わることで、地域全体で子どもを育てる体制を強調しました。

【地域・団体・事業者等】

- 放課後や休日、地域の中で子どもたちが安心して過ごせる居場所や体験活動の場の提供に努め、見守りや交流に協力します。
- 事業者は、子育て世帯向けのサービスや職場環境の整備、子育て支援活動への協賛・協力などを通じて、子育てしやすいまちづくりに貢献します。

個別版

コメントの追加 [C8]: 単に制度を利用するだけではなく、制度について積極的に情報を収集し、必要に応じてデジタル申請や相談窓口を活用するイメージを加えました。

また、共助の観点から情報を知らない人に対して教えてあげる姿勢や、仲間づくりの観点も加えました。

コメントの追加 [C9]: 多様な居場所の実現にはサービスや制度だけではなく、「場」の提供の協力が不可欠であるイメージを加えました。

住民アンケート結果報告書（P.99）においても、特に多子世帯において職場環境の充実の重要性が示されたため、事業者が職場環境の整備に協力する姿勢を加えました。

関連する計画・条例等

- 上市町こども計画
- 上市町こどもの権利条例



1-2 すべての子育て世帯を地域で支える環境の整備



現状と課題

- 本町では、人口減少や核家族化の進行、女性の社会進出等により、子育てに関わる人や大人と子どもがふれあう機会の減少、子育て家庭の負担の増加が大きな問題となっています。本町で培われてきた地域のマンパワーや地域住民同士のつながりを活用しながら、地域ぐるみの子育てを推進し、より多くの町民が子育てに関わることで、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、子どもの健全な成長へつなげることが大切です。
- 近年、児童虐待への対策や障害のある子どもに対する支援や、ヤングケアラーなど支援を必要とする子ども・家庭に対する迅速かつ適切な支援が求められています。本町においても、子育てに関する悩みを相談する機会をもっていない人や、貧困状態で経済的な支援を求める家庭に対し、適切な支援が行き届くようにする必要があります。

ミライの
上市

子育てに不安や孤独を感じることなく、地域ぐるみで安心して子育てができます。

数値目標

指標	基準値	目標値
2か月児訪問実施率（乳児家庭全戸訪問事業）	100%	100%
養育支援等に携わる職員数	11人	11人
出産・育児支援サイト「きらきらかみっ子」月平均訪問数	1,104回	1,500回

施策の内容

1-2-1 子育てに関する情報提供・相談体制の強化

- 妊娠届出時に出産・子育て便利帳や子育てに関するパンフレット等を配布するほか、出産・育児支援サイト「きらきらかみっ子」等のメディアを通して、各子育て支援施設で開催される講座等の情報を発信します。
- 福祉課・こども家庭センター窓口、児童福祉施設、こどもの城、保健師等での相談支援を充実させるとともに、必要に応じて医療機関等と連携しながら支援を行います。

1-2-2 家庭や地域における子育て

- 児童クラブ、子育てサークル、ボランティア団体等が、自主的に実施する地域の子育て支援活動の運営等について、行事等へ気軽に

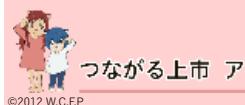


©2012 W.C.F.P

環境の充実

- に参加できるよう内容の見直しや環境づくりに努めながら支援します。
- 地域で子育てする親を見守り、支援するため、身近な相談役として母子保健推進員の委嘱を行うとともに、活動の周知を図ります。
 - 世代間で助け合いながら子育てすることで、子育てへの不安の緩和や負担の軽減につながるよう、三世代同居での子育ての環境づくりを支援します。

1-2-3
デジタル技術を活用した母子保健の充実



©2012 W.C.F.P

★ 産前産後の母子の健康及び子どもの健康と健全な発育を守るために、妊婦に対して母子の一貫した記録となる母子健康手帳を交付します。また、妊娠届などデジタル技術による利便性向上を目指します。

- 妊婦や乳幼児の親子に対し、健康診査、パパママ教室、家庭への訪問等を実施し、子育てへの不安解消を図ります。また、子どもが生まれたすべての家庭に育児用品などが入ったギフトボックス (Kamiichi Baby Gift) を渡します。
- 富山県が開設している不妊専門相談センターや富山県中部厚生センター等と連携して、不妊症不育症で悩んでいる方に対する情報提供や相談体制を充実させるほか、治療費の助成を行います。
- 高校生年代までの子どもの医療費の自己負担分を助成し、子育て世帯の負担軽減に努めます。
- 富山地区広域圏各市町村と連携し、休日・夜間救急センターや小児救急電話相談等について周知します。
- 低体重児の出生の増加等を踏まえ、母子の健康の確保を図るために、自らの食習慣に興味が持てるよう、食を通じた健康づくりに関する情報提供を推進します。また、小・中学校及び保育所(園)等の食育計画に併せ、発達段階に応じた食育教室の開催を検討します。

1-2-4
仕事と子育ての両立支援

- ★ ワーク・ライフ・バランスの考え方について、広報等を通じて、事業所や労働者、地域住民等に対する意識啓発及び周知に努めます。
- パパママ教室での講話や実習を通して出産や育児について学んだり、父親同士が情報交換できるように支援し、父親の育児や家事の参加促進を図ります。
 - 育児休業制度や介護休業制度の普及や制度を利用しやすい職場の雰囲気づくりなど、事業所等における子育てしやすい労働環境づくりの普及啓発を図ります。
 - ★ 富山県や事業者、ハローワーク、関係機関等と連携を図り、情報提供やサポート体制の構築、スキルアップに関する支援を行うなど、出産や子育てのため退職した女性の再就職に向けた支援を行います。

1-2-5

★ 子育てに対し不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育

コメントの追加 [C10]: デジタル技術による利便性向上を目指し、具体的な内容を盛り込みました。

コメントの追加 [C11]: 令和6年10月1日から子ども医療費助成対象年齢を中学校修了から18歳年度末(高校生年代)まで延長した点を反映しました。

施策

1

すべての子どもが健やかに成長できる環境の整備



つながる上市 ア

©2012 W.C.F.P

支援が必要となっている家庭を対象に、こども家庭センターによる母子保健と児童福祉の両機能が一体的に関わり、妊産婦から子育て期にわたる切れ目ない相談支援体制の充実を図ります。また、必要に応じて、こども家庭センターが養育訪問を実施し、個々の家庭の抱える養育上の課題の解決や軽減を図ります。

- 児童虐待の早期発見・早期対応のため、子育て支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）で各関係機関と情報を共有しながら対応していくほか、DV案件については富山県中部厚生センターと連携しながら対応します。
- 犯罪、いじめ、児童虐待等により被害を受けた子どもの精神的ダメージの軽減や立ち直りを支援するため、各学校のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、子どもに対するカウンセリングや保護者に対する相談対応等を行います。
- ★ ヤングケアラーのいる家庭を対象に、ヘルパーを派遣し家事援助や相談支援を行うことにより、ヤングケアラー支援の充実を図ります。
- ひとり親家庭に対し、経済的支援を行うとともに、こども家庭センターや富山県中部厚生センター、町社会福祉協議会等と連携した相談支援の充実を図ります。
- ★ 経済的に困難を抱える子育て家庭やヤングケアラー等の把握に努め対策の検討を行うほか、幼児教育・保育、学校教育、生活環境、就労の面での子どもの貧困対策を充実させます。
- 関係機関が連携し、障害の早期発見・早期対応に努め、乳幼児期から就学、進学、就労等への継続的な支援体制の確立を図るほか、支援を要する子ども（障害児）の保育所（園）等への受入の確保を図るため、必要な保育士等の配置について財政支援（補助）を行います。
- 上市町こどもの権利条例の普及啓発を推進し、こども、若者及び子育てを社会全体で支え合う機運の醸成を図ります。

主な取組

- 妊娠・出産期保健事業
- 学齢期保健事業
- 子育て世帯への経済的支援事業
- 三世代同居推進給付金事業
- 乳児おむつ購入助成事業
- こども家庭センターの推進
- 妊娠届出の電子化事業
- 乳幼児期保健事業
- 幼児言語治療教室運営事業
- ひとり親家庭等医療費助成事業
- Kamichi Baby Gift 事業
- 切れ目のない母子保健対策事業
- ヤングケアラー支援ヘルパー派遣事業



©2012 W.C.F.P

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 基本的な生活習慣やコミュニケーション能力を家庭でしっかりと育みます。
- 地域などの行事には、子どもと積極的に参加します。
- デジタル化した子育て関連のサービスの積極的な活用に努めます。

【地域・団体・事業者等】

- 地域ぐるみで、若者や子ども、妊婦を見守り、悩みに寄り添うよう努めます。
- 地域の行事や団体活動を通じて、地域のつながりで子どもを育てるよう努めます。
- 職場では子育て世代や若者を見守り、子育てしながら働きやすい職場づくりを進めます。
- 虐待が疑われる子どもを見かけたら、役場等に連絡します。

コメントの追加 [C12]: 妊娠届出のデジタル化など子育て関連サービスを住民が積極的に活用する様を追記しました。

関連する計画・条例等

- 上市町こども計画
- 上市町こどもの権利条例



子育て支援教室（カミール）

個別施策

1

つながる2 教育・文化

2-1 学校教育の充実



現状と課題

- 少子化や経済のグローバル化、情報化等により社会が大きく変化する中、教育を取り巻く環境も大きく変化しています。そのため、子どもたちが新しい時代を切り拓く力を育てるよう、「生きる力」の基礎を養う教育が求められます。本町では、児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、基礎基本を定着させる教育を目指し、特別支援教育や不登校・いじめへの取組を中心に、幼保・小・中や関係機関との連携促進に努めました。そのほか、学校施設の耐震化等教育環境の充実も行いました。**また、教育環境の整備を目的に町内の小中学校を1校へ統合する義務教育学校の整備計画も進行中です。地域の学校運営への関心も高く、今後とも「地域とともにある学校」という観点を第一義に魅力あふれる学校づくりを引き続き進めていくことが大切です。**
- 家庭において基本的な生活習慣や社会的なマナーなどについて、家族での話し合い、ふれあいの機会を作ることがますます必要となっており、様々な家庭環境を踏まえた支援が必要です。

コメントの追加 [C13]: 義務教育学校に関する内容を盛り込む必要があると考え、追記しました。

ミライの上市

小・中学校において、時代の変化に対応し、たくましく生きていくための人間力・社会性を培う教育が充実しています。

数値目標

指標	基準値	目標値
家庭での学習習慣 【総合戦略】	小学生 68% 中学生 49%	小学生 70% 中学生 60%
中学生の自己有用感 【総合戦略】	79%	80%
中学生の学習への関心度 【総合戦略】	76%	80%



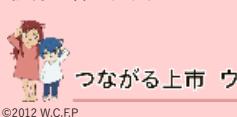
プログラミング教室



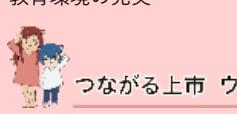
©2012 W.C.F.P

施策の内容

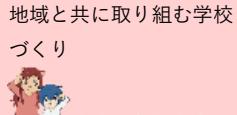
2-1-1 教育内容の充実



2-1-2 教育環境の充実



2-1-3 地域と共に取り組む学校づくり



- 個々の発達の度合に応じた学びを進め、基礎的な学力の定着を図ることにより、自ら考え学ぶ力を培い、しなやかで伸びしろのある子どもたちを育む教育、上市町が持つ豊かな自然や歴史・文化を学び体験することにより、郷土への誇りと愛着を育て、もって自己の確立を促し、国際社会の中で自らを表現し、コミュニケーションがとれる子どもたちを育む教育に取り組んでいきます。

- ★ 学校施設ができる限り地域に開放するというコンセプトのもと、義務教育学校の開校に向けた準備等を行います。

- 個別施設計画を基に、学校施設の改修等を行います。

- ★ 学校が本来担うべき業務を整理し、I C T環境の整備や校務支援システム・授業支援システムの導入、業務委託の検討に加え、中学校部活動の見直しにより、教職員の負担を軽減することにより、本来の授業構築や児童生徒の支援に時間を充てることで、子どもたちの教育環境の充実を図ります。

- ★ 関係機関が連携し、乳幼児期からの切れ目ない発達支援に努めるとともに、いじめや不登校等の子どもたちに対し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、適応指導教室、教育センターなどが一体になって支援を行っていきます。また必要に応じて I C Tを活用した対応にも努めます。

- 地域の見守りにより、子どもたちが安全・安心に通学できるよう、通学路の定期点検を進めます。

- ★ 学校、地域、家庭が一体となって「学校を核とした地域づくり」を目指して協働するコミュニティ・スクールを推進します。

- ★ 上市高校との協働により、高校教育の振興を図ります。

個別
施策

1

主な取組

- 義務教育学校整備事業
- 外国語教育推進事業（全小・中学校に外国語指導助手を配置、独自カリキュラムの作成）
- 情報教育推進事業（G I G Aスクール構想の推進）
- 学校給食事業（自校式給食の維持、地元食材の活用）
- 切れ目ない支援体制整備事業（インクルーシブ教育の推進、発達・不登校等支援の充実）
- 特色ある教育推進事業（ふるさと学習の推進、学校図書館司書の配置充実）
- 上市高校との協働事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 子どもたちは、自ら興味・関心を持ち、失敗を恐れずにチャレンジし、上市町のことはじめ、様々なことを学びます。
- 子どもたちは、家庭学習や運動の習慣を身につけるとともに、多様な人とのコミュニケーションを大切にし、人を思いやる気持ちを学びます。
- 保護者は、家庭での子どもたちとの時間を大切にし、子どもたちの個性を尊重して、温かく成長を見守ります。

【地域・団体・事業者等】

- 教職員は、教科指導力・学級経営力を高めるとともに、いつでも子どもの思いや気持ちに寄り添えるように、子どもとしっかり向き合い、子どもの理解に努めます。
- 学校と連携して、地域の文化・伝統を伝えるなど、ふるさと学習の充実に努めます。
- 地域の子どもは地域で育てる気持ちで、児童・生徒の教育活動に協力します。
- 虐待やいじめなど様々な不安の解消のため、関係機関との情報共有に努めます。



小学校での授業



上市高校生による「上高パン」渡し



©2012 W.C.F.P

2-2 生涯学習の振興



現状と課題

- 生涯学習は、人々に学ぶ喜びや生きがいをもたらしており、「ふるさと町民学園」は30年以上、受講者が楽しく集い学ぶ場として継続されています。地区公民館でも講座や各種事業を通じて教養を高める取組が行われ、図書館では学校図書館司書等との連携や蔵書の充実、施設整備など、誰もが学べる環境づくりが進められています。
- 公民館講座や図書館の利用者数が減少傾向にあり、今後は多様化する住民の学習ニーズへの対応や、学びの質の向上、ICT活用、世代間交流など、より実効性のある生涯学習施策への転換と、取組内容の質の向上が求められています。

ミライの上市

生涯学習で得た多様な学びが、地域づくりや地域のつながりの強化と世代間交流に活かされています。

数値目標

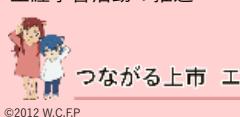
指標	基準値	目標値
公民館講座受講者数	29,673人	149,000人 (R8~R12)
小・中学校図書館の1人当たり貸出図書数	18冊	20冊
町立上市図書館・絵本室の年間図書貸出冊数	68,039冊	345,000冊以上 (R8~R12)
ふるさと町民学園受講者満足度	—	90%

コメントの追加 [C14]: 講座数減少や多様化する学習ニーズへの対応が新たな課題として指摘されていることから、多様化するニーズへの対応のニュアンスを入れ込みました。

コメントの追加 [C15]: 学びの多様性と世代間交流をニュアンスとして入れ込みました。

施策の内容

2-2-1 生涯学習活動の推進



- ふるさと町民学園や公民館講座の内容充実と受講者満足度向上、図書館と学校の連携による読書環境の充実に加え、デジタル学習や多世代・多様な学びの場の創出、ICTを活用した学習機会の拡大を推進します。

コメントの追加 [C16]: 従来の受講者数や貸出冊数だけでなく、満足度や多様性、デジタル活用を重視した施策内容へ見直しました。

2-2-2
生涯学習環境の充実

- 地区公民館の施設や設備の整備を実施し、快適な学習環境の確保に努めます。
- 地区公民館との連携により、地域での読書環境の向上に努めます。

- 地区公民館や図書館の施設・設備整備に加え、ICT環境の充実やバリアフリー化を進め、誰もが快適に学べる環境を整備します。
- 地域や学校と連携し、デジタル教材やオンライン学習、体験型イベントなど多様な学びの機会を提供します。
- 図書館や公民館を活用し、世代を超えた交流や学びの場を創出し、学びの質と参加の多様性を高めます。
- 図書館情報システムのセキュリティ強化や、絵本室の利便性向上も継続します。

主な取組

- ふるさと町民学園運営事業
- 公民館施設・設備整備事業
- 子ども読書活動推進事業
- 公民館活動推進事業
- 図書館運営事業
- 魅力ある図書館発信事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 高齢者から小さな子どもまで、すべての世代が学習意欲を持ち、自ら学びを深めるとともに、デジタル学習やオンライン講座、多世代交流イベントや体験型ワークショップにも積極的に参加します。
- 図書館や公民館等を活用し、幼い頃から本やデジタル教材に親しむ習慣を身につけます。

【地域・団体・事業者等】

- 多世代が参加できる体験型学習イベントや、地域の特色を活かしたワークショップを企画・実施します。



てがたアートうちわづくり（公民館講座）



絵本室“ゆめぼっけ”

コメントの追加 [C17]: 「ICT活用」「多様な学びの機会」「多世代交流」「学びの質向上」などが今後の重点課題のためそれらを反映した施策内容としました。

コメントの追加 [C18]: 「多様な学びの機会の確保」「ICT活用」「多世代交流」などが課題と考えられるところから、全世代が主体的に学び、デジタル学習や多世代交流にも積極的に参加する内容に変更しました。

コメントの追加 [C19]: 多世代が参加できるというニュアンスを加えました。



©2012 W.C.F.P

2-3 スポーツの振興



現状と課題

- スポーツイベントの開催や上市町スポーツ協会、上市町スポーツ少年団、上市町総合スポーツクラブ“さんさん”(以下「“さんさん”」)、上市町スポーツ推進委員協議会の活動を通して、競技力向上や成人の週1回以上のスポーツ実施率が 69.6%を占めるなど、町民のスポーツ活動は充実しています。
- 一方、スポーツをするための条件として時間や場所・施設の確保が多く挙げられることから、ウォーキングや踏み台昇降など日常生活において気軽に取り組めることもスポーツであるという認識を広め、スポーツをやる気にさせる取組が求められています。
- スポーツ少年団・成年スポーツ団体では、チーム数や団員数の減少、高齢化が進んでいます。また、中学校部活動の地域展開などスポーツを取り巻く状況が著しく変化しています。上市町スポーツ協会、上市町スポーツ少年団、上市町スポーツ推進委員協議会の相互の連携を促進し、各種スポーツ競技の競技力向上と指導者の資質向上、新たな人材を発掘することで様々な年代における持続可能なスポーツ環境を整える必要があります。
- 生涯にわたり心身共に健康で心豊かな生活をおくるため、町民の誰もが各々の年代や関心などにより、それぞれの楽しみ方に応じて日常的にスポーツに関わる機会の充実を図ることが求められています。“さんさん”では、世代やニーズに応じた教室やイベントを開催していますが、内容の充実や会員の増加、指導者の確保が課題になっています。自立的な運営を促進するために、行政や前述のスポーツ関係団体が担う役割を明確化する必要があります。
- e スポーツ大会は、令和5年度以降、毎年異なる県外イベントと連携し、オンライン対戦などで参加者同士の交流を深めるとともに、町の魅力を発信することで、関係人口の拡大を図っています。また、大会の運営等でつながりを持った地元企業や県内企業、町内にサテライトオフィスを置く首都圏企業などが運営母体となってカミイチ e スポーツクラブを設立するなど、e スポーツ振興の取組が進展しています。今後、このクラブを核とし、障害の有無や属性を超えて一緒に楽しめる e スポーツを公民館を拠点に普及させることで、多様な世代間・地域間交流の更なる促進が期待できます。

個別施策

1

多世代・多様な人が、いつでも、どこでも、だれでもスポーツに親しみ、心身ともに充実した生活を営むことができています。

コメントの追加 [C20]: 多世代・多様な人というニュアンスを追加しました。

数値目標

指標	基準値	目標値
成人の週1回以上スポーツ実施率	69.6%	70%
eスポーツ関連イベントの参加者数	238人／年	500人／年

施策の内容

2-3-1 スポーツ活動の推進	<p>★ 日常生活の中で自然にスポーツに親しむ「スポーツ・イン・ライフ」(生活の中にスポーツを) という姿を啓発します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種スポーツイベントの開催を通じて、町民に広くスポーツを「する・みる・ささえる」機会を提供します。 ○ スポーツ協会、スポーツ少年団、各種スポーツ団体への支援や団体間の連携を通して、競技力向上や指導者の資質向上、新たな人材の発掘を図ります。また、中学校部活動の地域展開と合わせ多世代でのスポーツ活動の推進と支援に努めます。 ○ “さんさん”の自立的な運営を促進する環境を整備します。 ★ フォトロゲイニングなど、豊かな自然環境を活かしたスポーツの機会を提供します。 ○ 子どもが体を動かす喜びを体験することで、運動・スポーツの習慣化を図ります。
2-3-2 スポーツ環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会体育施設の長寿命化や多機能化、学校開放施設の環境に即した設備や備品整備を通して町民がスポーツ活動を行いやすい環境づくりを行います。
2-3-3 eスポーツの普及	<p>★ eスポーツを、新たなつながりや体験の創出、新しい文化や社会の創造、地域活性化への貢献に向けた取組の一つとしてとらえ、関係団体や事業者等と連携しながら、活動団体の支援や体验会の実施、大会の誘致等を行います。</p>

主な取組

- 生涯スポーツ推進事業
- 子ども体力・競技力向上支援事業
- 学校開放施設整備事業
- 部活動地域移行事業
- スポーツ団体活動支援事業
- 社会体育施設整備事業
- eスポーツ振興事業
- **上中すばかる（スポーツ＆カルチャー）事業**

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- それぞれの興味、関心、ライフステージ等に応じて、日常的にスポーツに取り組みます。



©2012 W.C.F.P

○地域や町が開催するスポーツイベントやeスポーツ、世代間交流型イベントにも積極的に参加します。

○家族や友人と一緒に楽しめるスポーツや、健康づくりを目的とした活動にも取り組みます。

【地域・団体・事業者等】

- 地域やスポーツ団体によるスポーツ大会を開催し、世代間・地域間の交流を行います。
- 上市町総合スポーツクラブは、自主運営を促進し、それぞれの年齢や体力、興味・関心・適性等に応じてスポーツを楽しむ機会を提供します。
- 中学校部活動の地域展開への協力や、学校・地域・家庭が一体となって行う「学校を核とした地域づくり」を目指して協働するコミュニティ・スクールに参画します。
- eスポーツや新しいスポーツ分野の普及、女性や障がい者も参加しやすい環境づくり、指導者や新たな担い手の育成にも取り組みます。

コメントの追加 [C21]: eスポーツや世代間交流イベントを要素として盛り込むとともに、フレイル予防を念頭に健康づくりを目的とした活動についても追加しました。

2-4 地域文化の振興



現状と課題

- 本町には、大岩山日石寺・眼目山立山寺・史跡上市黒川遺跡群をはじめとする貴重な文化財や伝統文化が数多く守り伝えられており、町全体でその保存・継承に努めています。しかし、近年は人口減少や担い手不足が課題となっており、今後は若い世代の参加促進や多様な担い手の確保が必要です。
- ふるさと教育や地域資源を活かした学びの充実に加え、多文化共生や現代的な創作活動、デジタル技術を活用した文化発信など、新しい文化活動への対応も求められています。
- 北アルプス文化センターを拠点とした芸術・文化活動の支援や、文化資源を活用した地域活性化の取組が進められていますが、担い手や参加者の減少・高齢化、若い世代の参加不足、発信力や観光振興の弱さ、施設の老朽化や運営体制の持続性などが挙げられます。

ミライの上市

文化財や先人の功績が次世代に継承され、町民が誇りを持ち、若い世代も含め多様な担い手が芸術文化活動やデジタル発信で町の魅力を広げています。

個別施策

1

コメントの追加 [C23]: 近年の人口減少や担い手不足、参加者の高齢化といった地域文化の持続性に関する課題が顕在化しており、また住民アンケートやヒアリング、各種計画書（例：現・総合計画）でも、若い世代の参加促進や多様な担い手の確保、多文化共生やデジタル技術を活用した新しい文化活動への対応、施設の老朽化や運営体制の持続性などが課題として明記されていることから、課題認識として反映しました。

数値目標

指標	基準値	目標値
小・中学生の地域活動への関心度	84%	85%

コメントの追加 [C24]: 「担い手不足」「若い世代の参加促進」「多様な文化活動やデジタル発信の必要性」が課題と考えられるため、本文には保存・継承だけでなく、若い世代や多様な担い手の参加、デジタル発信など現代的な方向性を反映しました。

施策の内容

2-4-1 文化財の保護と活用	○ 史跡上市黒川遺跡群の保存について、継続的に保存のための整備を行います。 ○ 文化財の保存・活用、伝統文化の継承 に対して、活動の支援を行います。
2-4-2 ふるさと学習の充実  つながる上市 工 ©2012 W.C.F.	★ 学校や生涯学習の場等で実施されるふるさと学習について、学習教材の作成を支援し、内容の見直しを行います。
2-4-3 文化・芸術活動の推進	○ 北アルプス文化センターでの自主文化事業の実施や、美術展、文化祭、 西田美術館との共同展 の開催を継続的に行っていきます。 ★ 事業者の協力による「歴史と文化の薫り高いまちづくり」を推進します。

主な取組

- 上市黒川遺跡群整備・活用事業
- 民俗文化振興事業
- 芸術・文化活動推進事業
- 北アルプス文化センター運営事業
- **西田美術館共同展**の開催

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- **文化財や文化・芸術活動への関心に加え、子どもたちも含めた多様な世代が参加しやすい体験イベントやワークショップへの参加、デジタル技術やSNSを活用した文化発信にも積極的に協力します。**

コメントの追加 [C25]: 住民がボランティア以外にもイベントに参加し、その様子を発信することに協力いただくニュアンスにしました。

【地域・団体・事業者等】

- 地域の伝統文化活動への参加促進に加え、若い世代や新たな担い手の育成、デジタル技術を活用した文化活動や観光・地域活性化にも積極的に取り組みます。



8

黒川フェスティバル





©2012 W.C.F.P

2-5 多様性を尊重した社会づくりの推進



現状と課題

- 私たちが人間らしく幸せに生きていくためには人権が守られなければなりません。しかしながら、子どもや高齢者、障害者に対する虐待、外国人や性的マイノリティに対する偏見、男女の平等や女性の活躍を妨げる問題が発生しています。本町でも関係団体に対する活動支援などの取組を行ってきました。国際的に人権尊重の取組が進む中、すべての人の人権が尊重される社会を目指して、あらゆる差別を許さないという人権意識の醸成に取り組むことが求められます。

ミライの上市

町民が人権感覚を十分に身につけて、国籍や性別、年齢、障害の有無に関係なく、個性と能力を発揮できる取組が進んでいます。

数値目標

指標	基準値	目標値
審議会の女性の選任率	23.9%	30%以上

施策の内容

2-5-1 人権教育の推進

- 性別や年齢、国籍や障害の有無などを超えて、町民一人ひとりがお互いに認め合うノーマライゼーションの理念の普及等、人権教育・啓発を進めます。
- ★ IT化の進展に伴い、情報リテラシー教育を強化し、口コミサイトや詐欺サイトの見極め方、SNS上の誹謗中傷・風評被害への対応力を育むとともに、町民が安心して情報を活用できる環境づくりを推進します。

2-5-2 共生社会形成の推進

- 企業、学校、家庭、地域、行政といった場面で女性、高齢者、障害者が活躍できる環境づくりを支援します。
- 相談窓口や電話相談にて、人権侵害を受けた人々に対して、必要な支援を提供するとともに、相談窓口の周知を行います。
- 男女間の暴力をなくすため、暴力根絶のための意識づくりに努めるとともに、セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為などの人権侵害を防止するための意識啓発を図ります。

個別施策

1

コメントの追加 [C26]: アンケート結果より、高齢者や若者のITリテラシー格差が課題として挙げられており、教育だけでなく「安心して使える環境」が必要と考えました。

2-5-3
文化の多様性への理解の
推進

- 町民と外国人がお互いの文化に対して理解を深められる、多文化交流の機会を創出します。
- 行政や地域活動において多言語に対応できる体制づくりを行い、外国人を受け入れられる環境を充実させていきます。

主な取組

- 人権擁護啓発活動
- 男女共同参画推進事業
- 國際交流・多文化共生推進事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 差別をしない・差別を許さない心を持つとともに、男女共同参画への意識を高め、家庭や職場で実践します。

【地域・団体・事業者等】

- 地域や事業者で人権を学ぶ機会を設けるほか、地域での固定的役割分担意識の解消、女性の就労促進・継続就労、育児・介護との両立支援など、誰もが働きやすい環境づくりに向けた取組を進めます。

コメントの追加 [C27]: 性別に限らず多様な働き方を支援する姿勢を示しました。

関連する計画・条例等

- 上市町男女共同参画プラン



人権啓発活動



障害者週間啓発イベント